



物をそろえると、心もそろろう



新学年が始まって実質約2週間が過ぎようとしています。新学年になっての授業の進みぐあいは、まだ4月中旬といったところ

です。約3ヶ月の「すごもり生活」の影響は大きく、気温・湿度の高さも影響して、体力的にも、気持ちの上でも苦しい人が多いのではないのでしょうか。

しかし、さすがに2・3年生は中学校生活に対する経験と慣れがあり、多くの方が、もう学校生活のリズムを取り戻しているようです。一方、1年生は、中学校生活の緊張が少しずつ溶け始めたこともあり、7時間目に教室をのぞいてみると、しんどそうな表情で授業を受けている人もいました。今、この苦しさに負けないで頑張れば、体力も精神力もたくましく成長し、文字通りの「中学生」になっていけるのです。

上の写真は6月5日（金）の自転車置き場、靴置き場、部活動の時のスポーツバッグ置き場の様子です。自転車はラインにそって一列に並べられていて、ヘルメットもきちんと荷台にくくりつけられています。靴箱には、かかとの折れた靴は1足も見当たりませんでした。部活動を始める前に、スポーツバッグをきちんと整理して並べています。見ているだけで、さわやかな気持ちになります。

このような、物がそろった様子を見ると、いつも「はきものをそろえる」（長野県 円福寺住職 藤本幸邦）という詩を思い出します。ゆっくりと声に出して読んでみてください。

自転車をラインにそって並べることや、靴のかかとをきちんとそろえておくこと、スポーツバッグを整理して並べておくことなどは、行動としては、とても小さな事かもしれませんが、してもしなくても変わらないのでは、と思う人もいるでしょう。でも、心と行動はつながっています。このような小さなことを当たり前のようにできるようになることが、とても大切なのです。自転車をラインにそろえて並べることで、靴をそろえて脱ぐことで、スポーツバッグを整理することで、自分の心が整います。体がしんどくて、やる気が出ないとき、思うようにならないときこそ、まず、身の回りの物をきちんとそろえてみましょう。



本文とは関係ありませんが、生徒玄関にチョコちゃんがあります。学校へ来る機会があったら一度ご覧ください。